

湖西市環境センター  
基幹的設備改良工事及び長期包括運営委託事業  
審査講評

令和2年12月28日

湖西市環境センター  
基幹的設備改良工事及び長期包括運営委託事業  
PFI事業者審査会

湖西市環境センター基幹的設備改良工事及び長期包括運営委託事業（以下「本事業」という。）における民間事業者の選定を公平かつ適正に実施するため、湖西市環境センター基幹的設備改良工事及び長期包括運営委託事業 PFI 事業者審査会（以下「事業者審査会」という。）が設置された。

令和元年 11 月に第 1 回事業者審査会を開催し、約 1 年間にわたって実施方針や要求水準書などの募集要項について審議を重ねるとともに、応募グループ（以下「応募者」という。）の提案内容について厳正かつ公正な審査を行い、優先交渉権者を決定した。

本審査講評は、事業者審査会におけるこれまでの審議や審査の過程及び審査の結果について公表するものである。

湖西市環境センター基幹的設備改良工事及び長期包括運営委託事業 PFI 事業者審査会

委員長	野本	修
副委員長	山口	直也
委員	小林	潤
委員	山本	一敏
委員	鈴木	徹
委員	川上	恵資

－ 目 次 －

I. 総則	1
1. 事業概要	1
(1) 事業方式	1
(2) 事業期間	1
(3) 対象施設	1
(4) 施設の立地条件	1
(5) 施設の配置	3
(6) 契約形態	3
II. 審査の方法	4
1. 審査体制	4
2. 審査及び契約締結までの流れ	4
3. 資格審査	6
4. 競争的対話	6
5. 提案審査	6
(1) 基礎審査	6
(2) 非価格要素審査	6
III. 事業者審査会の開催及び審議	9
IV. 審査結果	9
1. 資格審査	9
2. 競争的対話	10
3. 提案審査	10
(1) 基礎審査	10
(2) 非価格要素審査	10
(3) 価格要素審査	15
(4) 総合的な評価	15
V. 総評	16

## I. 総則

### 1. 事業概要

#### (1) 事業方式

本事業は、本施設の設計・基幹的設備改良工事・資金調達及び運営に係る業務を特別目的会社が一括して行う R0（Rehabilitate：改修（基幹的設備改良工事） Operate：運営）方式として実施する。

従って、本事業に応募する応募者又は複数の民間事業者によって構成される応募グループは特別目的会社を設立する。

#### (2) 事業期間

- 1) 事業期間：契約締結日の翌日から令和 26 年 3 月 31 日まで
- 2) 焼却施設工事期間：契約締結日の翌日から令和 6 年 1 月 31 日まで
- 3) リサイクルプラザ工事期間：契約締結日の翌日から令和 6 年 3 月 31 日まで
- 4) 運営準備期間：契約締結日の翌日から令和 3 年 3 月 31 日まで
- 5) 焼却施設運営期間：令和 6 年 2 月 1 日から令和 26 年 3 月 31 日まで
- 6) リサイクルプラザ運営期間：令和 3 年 4 月 1 日から令和 26 年 3 月 31 日まで
- 7) 乖離請求期間：令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

#### (3) 対象施設

- 1) 工場棟（焼却施設・リサイクルプラザ）
- 2) 管理棟
- 3) 車庫棟
- 4) 手洗車棟
- 5) ストックヤード棟
- 6) 計量棟

#### (4) 施設の立地条件

##### 1) 事業用地

静岡県湖西市吉美 3294-47

##### 2) 都市計画事項

用途地域：指定のない地域  
防火地域：建築基準法第 22 条地域  
高度地区：なし  
建ぺい率：60%  
容積率：100%

### 3) 施設概要

基幹的設備改良工事を実施後、以下のとおり施設の処理能力を変更する。

湖西市環境センター		
施設	焼却施設	リサイクルプラザ
形式	旋回流型流動床式焼却炉 (全連続燃焼式)	・横型衝撃・せん断回転式 (高速破砕機) ・油圧駆動 2 軸回転引裂式 (低速破砕機)
運営期間	令和 6 年 2 月～令和 26 年 3 月	令和 3 年 4 月～令和 26 年 3 月
処理能力	102t/日 (51t/日×2 炉)	30t/5h

### ※参考 現状

湖西市環境センター		
施設	焼却施設	リサイクルプラザ
形式	旋回流型流動床式焼却炉 (全連続燃焼式)	・横型衝撃・せん断回転式 (高速破砕機) ・油圧駆動 2 軸回転引裂式 (低速破砕機)
稼働期間	平成 10 年 7 月 ～ 平成 22 年 10 月 (休止)	平成 10 年 7 月 ～ 現在
処理能力	120t/日 (60t/日×2 炉)	30t/5h
設計施工	株式会社 荏原製作所	
運転管理	(荏原環境プラント株式会社) ※休止中	荏原環境プラント株式会社

(5) 施設の配置

本施設の全体配置図を図に示す。

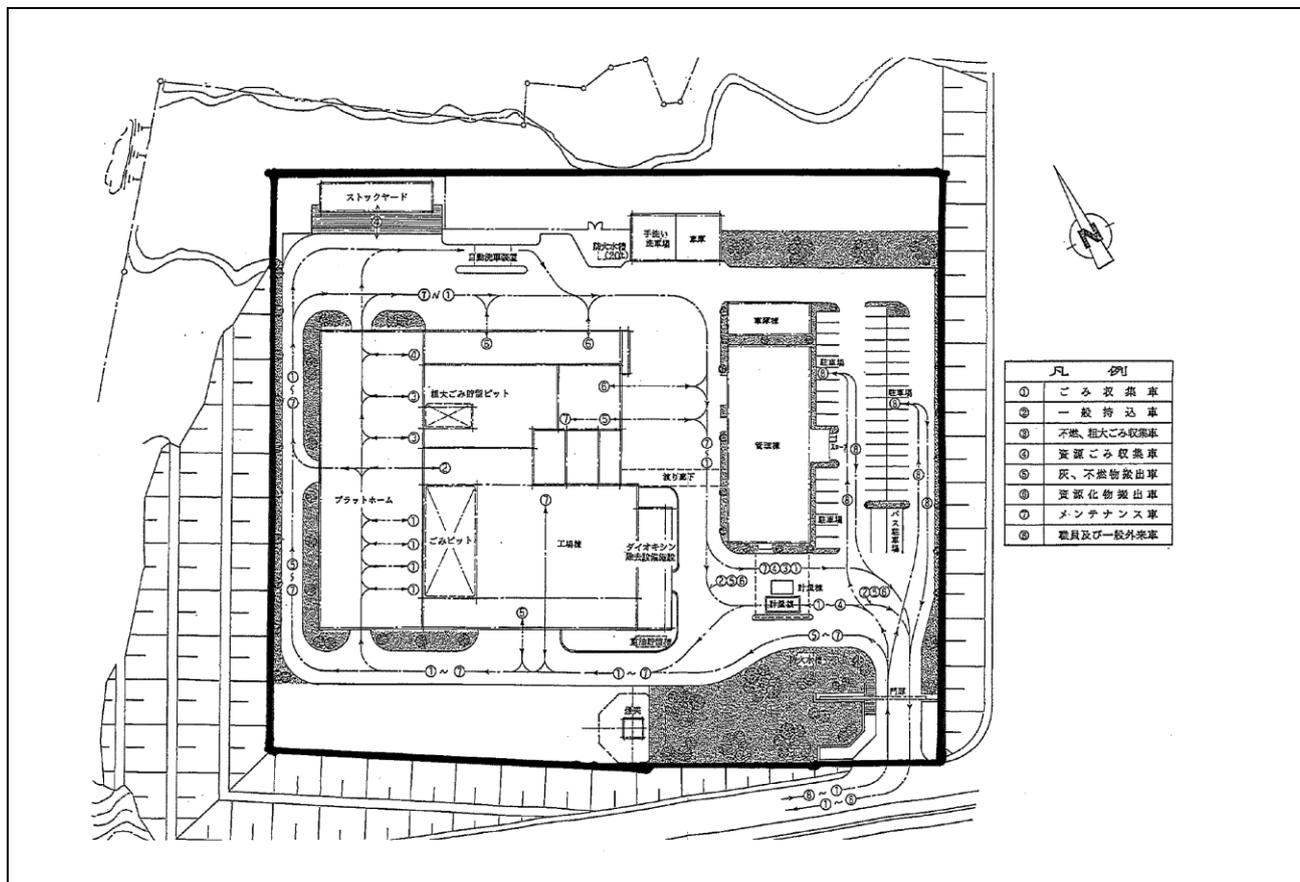


図 全体配置図（管理範囲は市の使用する管理棟部分を除く太枠線内）

(6) 契約形態

湖西市（以下、「本市」という。）は、特別目的会社に本施設の基幹的設備改良工事及び長期包括運営委託事業を一括して発注し、本事業に係る事業契約を特別目的会社と契約締結する。

## II. 審査の方法

### 1. 審査体制

事業者の選定を公平かつ適正に実施するため、「湖西市環境センター基幹的設備改良工事及び長期包括運営委託事業 PFI事業者審査会」を設置した。

事業者審査会を構成する委員は、次のとおりである。

委員会の職	氏名	所属・職名
委員長	の野 もと おさむ 本 修	西村あさひ法律事務所 弁護士
副委員長	やま ぐち なお や 山 口 直 也	青山学院大学 大学院 会計プロフェッション研究科 教授
委員	こ ぼやし じゅん 小 林 潤	工学院大学 工学部 機械工学科 教授
委員	やま もと かず とし 山 本 一 敏	財政担当課所管部長 総務部長
委員	すず ぎ とおる 鈴 木 徹	PFI 担当課所管部長 企画部長
委員	かわ かみ けい し 川 上 恵 資	事業主管課所管部長 環境部長

(備考：敬称略)

※1 鈴木委員は令和2年4月1日付人事異動に伴い前任者の佐原委員を引き継いだものである。

※2 川上委員は令和2年4月1日付人事異動に伴い前任者の相澤委員を引き継いだものである。

### 2. 審査及び契約締結までの流れ

事業者選定の方法は、本事業の特性を踏まえ、価格のほかに、施設の性能、機能、技術等の提案及び環境、安全、循環型社会への配慮等を総合的に評価する必要があることから、総合的な評価を行う公募型プロポーザル方式により実施した。

契約締結までの流れは、図1に示すとおりである。

なお、より一層の公平性・透明性を高めるため、提案書類によって応募者が特定できないよう審査を行った。

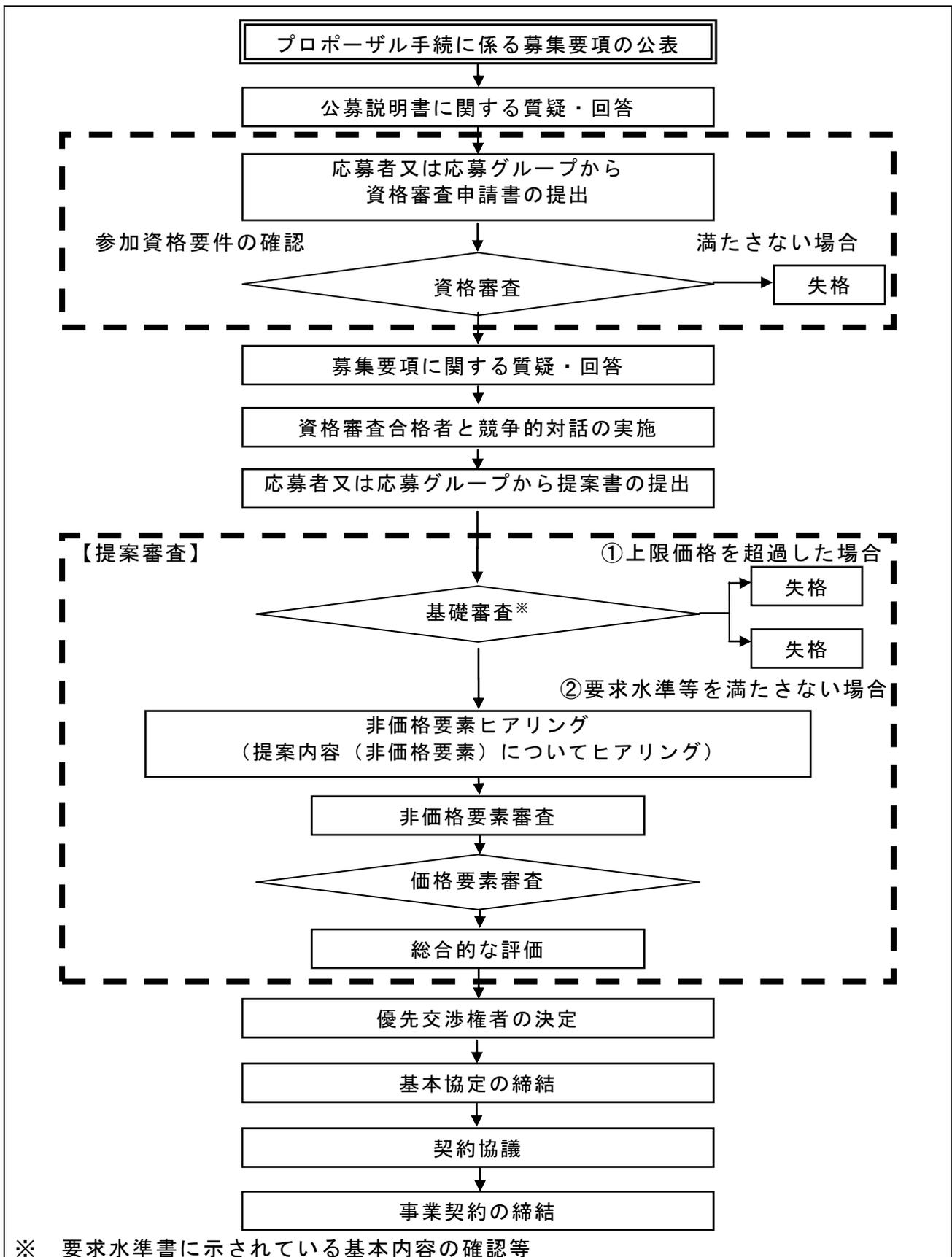


図 民間事業者の選定フロー

### 3. 資格審査

資格審査では、応募者からの参加資格申請書等に基づいて、参加資格の確認を事務局にて実施した。

### 4. 競争的対話

競争的対話とは、確実に発注者の意図（基幹的設備改良工事に関する事項及び運営に関する事項）が応募者に伝わり、その意図が提案書に反映されるように、「本市の求める要求水準の確認」、「事業のリスク構造の明確化」といった観点から、実施するものである。

競争的対話では、提案内容の基本的な考え方を確認するため、応募者から提出された提案概要書を踏まえ、事務局と応募者で実施した。

### 5. 提案審査

提案書類の提案書類の審査方法は以下のとおりである。

#### (1) 基礎審査

基礎審査では、要求水準書等に規定された性能要件を満足できるか否かの審査を事務局にて実施する。

#### (2) 非価格要素審査

(1)の基礎審査を通過した応募者を対象に、非価格要素提案書について審査し、非価格要素審査点を決定する。

なお、非価格要素審査に当たっては、提案内容に関する理解を深めるため、事業者審査会によるヒアリングを実施する。

非価格要素審査点の配点は、60点とし、以下に示す各評価項目の得点の合算を非価格要素審査点とする。評価項目及び配点、採点基準は以下に示すとおりである。

##### 1) 評価項目と配点

評価項目及び配点は表1に示すとおりである。

表1 非価格要素評価項目

評価項目	評価の視点	配点		
<b>①事業全体に関する事項</b>				
事業実施体制の考え方	・本事業を確実に実施するための体制について、代表企業、構成員、協力企業はそれぞれの経験、実績に基づいた適切な役割分担で計画されているか	5	15	点
事業の監視及びリスク管理の考え方	・事業の実行可能性を担保するための事業監視体制（セルフモニタリング等）が適切に計画されているか ・事業期間中におけるリスク管理（想定されるリスクとその対応が適切に把握）が計画されているか	5		
事業収支計画の考え方	・事業期間における安定した収支計画について実行可能性のある適切な提案がなされているか ・SPCへの資金面での支援体制が適切に計画され、安定した事業が行える計画が示されているか	5		
<b>②基幹的設備改良工事に関する評価事項</b>				
二酸化炭素排出抑制の取組への考え方	・二酸化炭素排出抑制に対して、実行可能性のある適切な提案がなされているか ・発電量（計画）について、実行可能性のある適切な提案がなされているか	5	15	点
工事工程及び工事期間中のごみ処理の考え方	・焼却施設は令和6年1月中の引渡しに向けた具体的な工事工程及び工程短縮に向けた合理的な提案がなされているか ・リサイクルプラザの基幹改良工事期間中、ごみ処理ができない期間を最小化する合理的な提案がなされているか ・焼却施設に搬入される下水汚泥について、具体的な悪臭抑制対策などが図られた具体的な提案が示されているか	5		
安全対策に関する考え方	・工事期間中における場内・場外の安全対策及び仮設計画等について適切な提案がなされているか ・工事車両、搬出入車両及び一般車両等に配慮した動線計画について適切な提案がなされているか	5		
<b>③長期包括運営委託に関する評価事項</b>				
環境保全対策の考え方	・市民から信頼される施設を目指した環境保全対策について優れた提案がなされているか ・最終処分量の削減に向けた飛灰処理物の低減対策について優れた提案がなされているか	5	25	点
施設運営計画の考え方	・運営期間中における安定的・経済的な施設運営を行うための取り組みについて適切な提案がなされているか ・確実な運営体制を確保するための長期的な職員の雇用計画及び教育計画等について適切な提案がなされているか	5		
維持管理計画の考え方	・令和26年度（2044年度）の施設廃止を見据えて、費用対効果を勘案した適切な維持管理計画が組まれているか	5		
事故及び災害対応の考え方	・緊急時及び災害発生時における施設の迅速な復旧に向けた対応方法（BCP計画の策定等）が計画されているか ・災害ごみ発生時における施設での対応方法（災害廃棄物の受け入れ・処理）について優れた提案がなされているか	10		
<b>④地域貢献に関する評価事項</b>				
地域貢献への考え方	・市民の雇用や市内企業の活用に配慮した提案がなされているか ・積極的に地域住民との交流を目指した優れた提案がなされているか	5	5	点
		60 点		

① 評価項目の採点基準

各評価項目において、次に示す5段階により評価、点数化する。

評価	評価内容	採点の算出方法
A	特に優れている	項目ごとの配点×1.00
B	AとCの間	項目ごとの配点×0.75
C	優れている	項目ごとの配点×0.50
D	CとEの間	項目ごとの配点×0.25
E	要求水準を満たす程度	項目ごとの配点×0.00

2) 上限価格

上限価格を事前公表する。

上限価格：19,500,000,000 円（消費税及び地方消費税の額を含む。）

3) 価格要素審査

価格要素審査点の配点は、40点とする。

価格要素審査点については、以下の方法で得点を算定する。

なお、点数は、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで求める。

【価格要素審査点の算出式】

$$\text{価格要素審査点} = 40\text{点} \times \frac{\text{最低提案価格}}{\text{提案価格}}$$

4) 優先交渉権者の決定

非価格要素審査点と価格要素審査点から事業者選定基準書に定める総合的な評価方式により評価点を算定し、最も高い点数の者を「優先交渉権者」とする。なお、総合的な評価点の最も高い点数の者が2者以上あるときは、くじ引により優先交渉権者を決定する。

### III. 事業者審査会の開催及び審議

年 月 日	主 な 内 容
令和元年11月13日（水）	第1回事業者審査会 実施方針（案）、事業者選定スケジュールについて審議
令和2年1月8日（水）	第2回事業者審査会 第1回PFI事業者審査会議事録（案）、特定事業の選定（案）、公募説明書（案）、要求水準書（案）について審議
令和2年1月24日（金）	第3回事業者審査会 特定事業の選定（案）、公募説明書（案）、要求水準書（案）、事業者選定基準（案）について審議
令和2年2月27日（木）	第4回事業者審査会 第2回、第3回PFI事業者審査会議事要旨（案）、事業者選定基準（案）、様式集（案）、基本協定書（案）、事業契約書（案）について審議
令和2年10月29日（木）	第5回事業者審査会 非価格要素提案書の明瞭化事項について審議
令和2年11月16日（月）	第6回事業者審査会 非価格要素ヒアリング、非価格要素審査、価格要素審査、総合的な評価、優先交渉権者の決定

### IV. 審査結果

#### 1. 資格審査

表2に示す応募者から参加資格申請があり、資格要件を満たしていることを事務局にて確認した。

表2 応募者一覧

代表企業	応募者を構成する企業（代表企業を除く）	
荏原環境プラント株式会社 （くろまつグループ）	構成員	—
	協力企業	—

事業者審査会においては、総合的な評価が終了するまで企業名を開示することなく、荏原環境プラント株式会社を代表企業とする応募者をくろまっグループと呼称して審議を行った。

## 2. 競争的対話

応募者に対して、以下のとおり競争的対話を実施した。

実施日：令和2年7月10日（金）

会場：湖西市環境センター2階 会議室

実施要領：提案概要書の内容（独自のものなど）について確認	30分
事務局からの質問	40分
応募者からの質問	10分

## 3. 提案審査

資格審査を通過した応募者から、提出された技術提案書の審査を実施した。

### (1) 基礎審査

提案内容が要求水準書等に規定された性能要件を満足できるか否かの審査を事務局にて行った。

その結果、全ての要件を満足していることを確認した。

### (2) 非価格要素審査

非価格要素審査は、評価項目ごとに事業者審査会が採点する方法により実施した。

また、非価格要素審査にあたっては、事業者審査会によるヒアリングを次のとおり実施した。

実施日：令和2年11月16日（月）

会場：湖西市 健康福祉センターおぼと 研修室

実施要領：プレゼンテーション30分以内

質疑30分間程度

（合計で約60分以内とした。）

非価格要素審査の結果を表3、非価格要素審査の講評を表4に示す。

表3 非価格要素審査結果

評価項目		評価の視点	配点		くろまつ	
①事業全体に関する事項	事業実施体制の考え方	本事業を確実に実施するための体制について、代表企業、構成員、協力企業はそれぞれの経験、実績に基づいた適切な役割分担で計画されているか	5	15点	3.2	8.9点
	事業の監視及びリスク管理の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の実行可能性を担保するための事業監視体制（セルフモニタリング等）が適切に計画されているか</li> <li>事業期間中におけるリスク管理（想定されるリスクとその対応が適切に把握）が計画されているか</li> </ul>	5		2.5	
	事業収支計画の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業期間における安定した収支計画について実行可能性のある適切な提案がなされているか</li> <li>SPC への資金面での支援体制が適切に計画され、安定した事業が行える計画が示されているか</li> </ul>	5		3.2	
②基幹的設備改良工事に関する評価事項	二酸化炭素排出抑制の取組への考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>二酸化炭素排出抑制に対して、実行可能性のある適切な提案がなされているか</li> <li>発電量（計画）について、実行可能性のある適切な提案がなされているか</li> </ul>	5	15点	2.9	8.6点
	工事工程及び工事期間中のごみ処理の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>焼却施設は令和6年1月中の引渡しに向けた具体的な工事工程及び工程短縮に向けた合理的な提案がなされているか</li> <li>リサイクルプラザの基幹改良工事期間中、ごみ処理ができない期間を最小化する合理的な提案がなされているか</li> <li>焼却施設に搬入される下水汚泥について、具体的な悪臭抑制対策などが図られた具体的な提案が示されているか</li> </ul>	5		3.2	
	安全対策に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事期間中における場内・場外の安全対策及び仮設計画等について適切な提案がなされているか</li> <li>工事車両、搬出入車両及び一般車両等に配慮した動線計画について適切な提案がなされているか</li> </ul>	5		2.5	

評価項目		評価の視点	配点		くろまつ	
③長期包括運営委託に関する評価事項	環境保全対策の考え方	・市民から信頼される施設を目指した環境保全対策について優れた提案がなされているか ・最終処分量の削減に向けた飛灰処理物の低減対策について優れた提案がなされているか	5	25点	3.8	15.1点
	施設運営計画の考え方	・運営期間中における安定的・経済的な施設運営を行うための取り組みについて適切な提案がなされているか ・確実な運営体制を確保するための長期的な職員の雇用計画及び教育計画等について適切な提案がなされているか	5		3.2	
	維持管理計画の考え方	・令和26年度（2044年度）の施設廃止を見据えて、費用対効果を勘案した適切な維持管理計画が組まれているか	5		2.7	
	事故及び災害対応の考え方	・緊急時及び災害発生時における施設の迅速な復旧に向けた対応方法（BCP計画の策定等）が計画されているか ・災害ごみ発生時における施設での対応方法（災害廃棄物の受け入れ・処理）について優れた提案がなされているか	10		5.4	
④地域貢献に関する評価事項	地域貢献への考え方	・市民の雇用や市内企業の活用に配慮した提案がなされているか ・積極的に地域住民との交流を目指した優れた提案がなされているか	5	5点	2.3	2.3点
合計			60	点	34.9	点

表4 非価格要素審査の講評

評価項目		講評
①事業全体に関する事項	事業実施体制の考え方	・ 基幹的設備改良工事と長期包括運営事業に関する豊富な実績を有する代表企業が全面的に責任を負って本事業を実施する体制が提案され、事業の確実な実施が担保される点を評価した。
	事業の監視及びリスク管理の考え方	・ 本事業の監視体制を適切に計画し、想定されるリスクの把握とそれに対する対応方針を具体的に提示している点を評価した。
	事業収支計画の考え方	・ 事業の安定性を確保するため、SPC の資本金・融資枠、及び SPC への資金繰り支援について実効性の高い提案を行っている点、収支計画が適切である点を評価した。
②基幹的設備改良工事に関する評価事項	二酸化炭素排出抑制の取組への考え方	・ 消費電力を抑制するための設計・設備を積極的に導入することで、要求水準を上回る二酸化炭素排出量削減率が提案された点を評価した。 ・ ごみ焼却施設における小型発電機の設置により、計画している発電量が得られる効果的な提案を行っている点を評価した。
	工事工程及び工事期間中のごみ処理の考え方	・ 全体工期短縮に配慮するとともに、ごみ処理ができない期間をできるだけ短縮化した工事計画について、適切で実効性の高い提案を行っている点を評価した。 ・ 下水汚泥の搬入において、悪臭抑制のための対策等具体的な提案を行っている点を評価した。
	安全対策に関する考え方	・ 工事期間中における場内・場外の安全対策、周辺環境への騒音・環境対策及び、ごみ搬入車両の安全に配慮した車両動線について、適切な提案を行っている点を評価した。

評価項目		評価
③長期包括運営委託に関する評価事項	環境保全対策の考え方	・排ガス基準の遵守に向けた排ガス管理方法及び最終処分量削減に向けた薬剤使用量の抑制について、実効性の高い優れた提案を行っている点を評価した。
	施設運営計画の考え方	・安定的な運転を実現するための施設運営体制・施設運転計画及び職員の技能向上に向けた教育訓練計画について、具体的な提案を行っている点を評価した。
	維持管理計画の考え方	・事業期間終了に伴い本施設が廃止予定であることを踏まえた、費用対効果を十分に意識した維持管理計画を提案している点を評価した。
	事故及び災害対応の考え方	・緊急時及び災害発生時における施設の迅速な復旧に向けた対応方法及び、緊急時の対応能力を向上させるための方策について、適切な提案を行っている点を評価した。
④地域貢献に関する評価事項	地域貢献への考え方	・地元雇用と地元雇用者の育成、地元企業の活用及び地域住民との信頼関係構築について、具体的な提案を行っている点を評価した。

(3) 価格要素審査

事業者選定基準に基づき、応募者から提出された提案価格について点数化を行った。価格点は、表5のとおりである。

表5 価格要素審査結果

(税込)

応募者	くろまつグループ
配点	40.0
上限価格 (円)	19,500,000,000 円
提案価格 (円)	19,431,765,385 円
価格要素審査点	40.0

(4) 総合的な評価

非価格要素審査点と価格要素審査点を加算し、総合的な評価をした結果表6のとおり「くろまつグループ」を優先交渉権に決定した。

表6 総合的な評価結果

応募者	くろまつグループ
非価格要素審査点 (①)	34.9 点
価格要素審査点 (②)	40.0 点
総合的な評価点 (①+②)	74.9 点

## V. 総評

本事業は、本施設の設計・基幹的設備改良工事・資金調達及び運営に係る業務を特別目的会社が一括して行うR0（Rehabilitate：改修（基幹的設備改良工事）Operate：運営）方式のPFI事業として実施されるものである。

本事業への応募提案は、1グループのみであった。PFI事業者審査会は、提案書類の提出を受け、前述した審査の方法により厳正かつ公正に審査を実施した。

応募者からの提案内容は、応募者のこれまでの経験・実績に基づくものであり、湖西市の発注意図を踏まえ、安全な工事及び安全で安定的な運営が期待できるものであった。また本事業の特性を踏まえ、事業期間を通じ、十分な監視体制が提案されており、事業の安心、安全な実施を確実にするものであった。基幹的設備改良工事においては、経済性を保ちつつも、消費電力量の削減や小型発電機の導入を行う等、基幹的設備改良工事の実施前と比較して二酸化炭素排出量を大きく削減する優れた提案であった。長期包括運営委託においては、23年間の運営期間を踏まえ、安全、安心、安定的な施設運営を実現すべく計画された運営体制であり、将来的な人口減少に伴うごみ量減少への対応策、地元雇用と長期的視野に立った従事職員の教育訓練計画といった、本事業の特徴に対応する提案内容が多く盛り込まれているものであり、提案内容は、全体として湖西市の要求水準を大きく上回るものであった。

PFI事業者審査会では、あらかじめ公表された優先交渉権者選定基準に則り、上記のとおり審査を行った結果、「荏原環境プラント株式会社」を代表企業とする応募者を優先交渉権者として選定した。

今後、本事業の実施にあたっては、以下の事項に十分に配慮したうえで実施されることを期待する。

- ・工期の遵守、二酸化炭素排出量の削減をはじめとした提案内容を確実に履行すること。
- ・安全で安定的なごみ処理はもとより、地域コミュニティとの関係について運営期間にわたり、市と連携をして友好的な関係を築くこと。
- ・依然として、新型コロナウイルス感染が終息していないが、計画通りの竣工と安定的な運転体制の確保を実現するために、現場における感染拡大の抑止に向けて最大限の努力を払うこと。
- ・工事及び運転段階において、安全性に十分に配慮した運営を行うこと。

最後に、本事業の実施は長期間に及ぶため、湖西市と事業者との信頼関係が重要であり、双方が誠意を持って本事業の推進に努められたい。

令和2年12月

湖西市環境センター基幹的設備改良工事  
及び長期包括運営委託事業PFI事業者審査会

委員長	野本	修
副委員長	山口	直也
委員	小林	潤
委員	山本	一敏
委員	鈴木	徹
委員	川上	恵資